

地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 月 日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市神奈川区栄町3-4
パシフィックマークス横浜イースト3F

氏名 株式会社ミツハシ
代表取締役 三橋 美幸

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 (代表者の氏名)	株式会社ミツハシ 代表取締役 三橋 美幸				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市神奈川区栄町3-4 パシフィックマークス横浜イースト3F				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	09 食料品製造業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,182	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ~	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

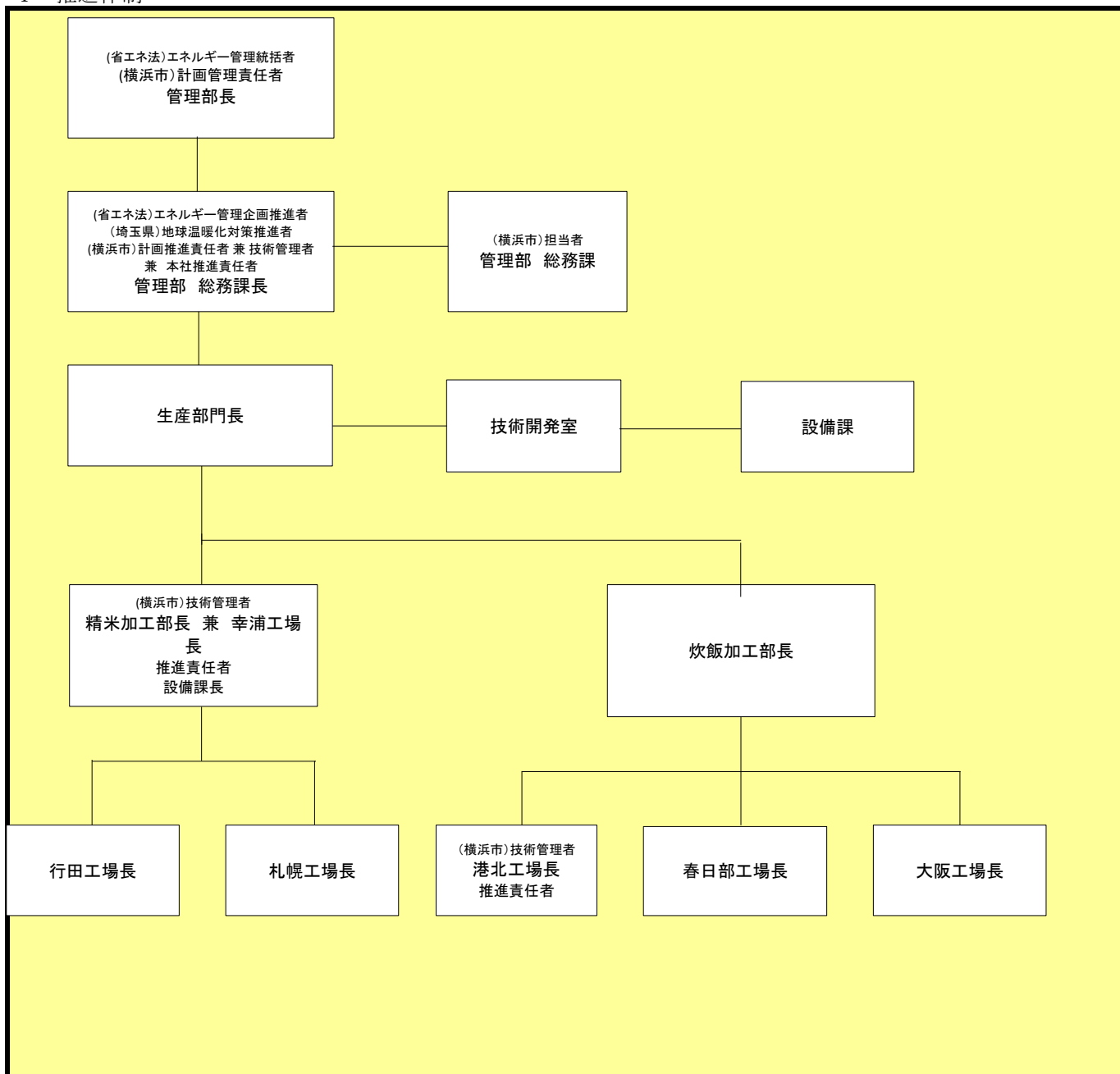
3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ・ エネルギーを使用する設備機器の運転日数・時間・設定等の運用状況を把握し、製品品質と省エネルギーを両立させる運用を徹底する。
- ・ 設備機器の担当者による記録とともに、エネルギーモニタリングシステムを活用し、得られたデータを設備機器の運用に反映する。
- ・ 日常の清掃と定期的な点検により、設備機器のエネルギー効率を最大限に引き出す。
- ・ エネルギー効率に優れた設備機器を計画的に導入する。

当社の横浜市内におけるエネルギー使用量は全事業所の50%以上を占めており、本計画は当社全体での地球温暖化対策の取組においても重要な意味合いを持つ。

設備更新については、設備の経年を考慮しつつ、更新によるエネルギーの削減効果が高い照明設備の高効率化を中心に平成28年度～平成30年度においても実施する予定であり、平成23年度より各事業場において順次更新を実施している。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社ミツハシ本社 管理部 総務課 連絡先：045-285-3284
	所在地	横浜市神奈川区栄町3-4 パシフィックマークス横浜イースト3F
	閲覧可能時間	10:00～16:00 予約の上閲覧をお願い致します。
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,417	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後	4,369	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,286	t-CO ₂	削減率	3.0 %		削減率	3.0 %
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>エネルギーの使用の合理化に関する法律で定められるエネルギーの使用に係る原単位を、平成27年度（2015年度）を基準として、毎年1%削減することを目標とする。当社は、工場については生産数量を、事務所については延床面積を原単位の分母とする。温室効果ガス排出削減についても、同じ分母を用いた原単位を平成27年度（2015年度）を基準として、毎年1%削減することを目標とする。</p> <p>これに従い、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量についても、平成27年度（2015年度）を基準として、毎年1%削減することを目標とする。</p> <p>目標達成に向け、設備の更新や運用の改善、エネルギー管理等に意欲的に取り組む。</p>							
事業者全体としての目標等	<p>事業者全体としての目標も同じく、エネルギーの使用に係る原単位を、平成28年度（2016年度）を基準として、毎年1%削減することを目標とする。</p>							
第一年度 (2016年度)	排出量	4,135	t-CO ₂	削減率	6.4 %	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	4,063	t-CO ₂	削減率	7.0 %		削減率	8.6 %
目標等の達成状況及び説明	<p>排出原単位は8.6%減となった。要因としては港北工場の1区画の改修工事により、4ヶ月間電気・ガスを使用していなかったことが大きい。来年度も引き続き社員一同で省エネ活動を実施し、運用面でのエネルギー使用量削減を目指す。</p>							
第二年度 (2017年度)	排出量	4,371	t-CO ₂	削減率	1.0 %	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	4,206	t-CO ₂	削減率	3.7 %		削減率	▲ 2.2 %
目標等の達成状況及び説明	<p>排出原単位は基準年度に対し、2.2%増となった。要因としては港北工場の1区画の改修工事が終了し、新設備での運用が開始されたことで、昨年度よりも排出量が増えることになってしまった。第三年度を迎える来年度は、本年度途中より開始した事業所が年間稼動することになり、排出量の増加が予想される為、社員一同で省エネ活動を実施し、運用面でのエネルギー使用量削減を目指す。</p>							
第三年度 (2018年度)	排出量	4,385	t-CO ₂	削減率	0.7 %	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	4,146	t-CO ₂	削減率	5.1 %		削減率	3.5 %
目標等の達成状況及び説明	<p>排出原単位は基準年度に対し、3.5%減となった。昨年度途中より開始した事業所が年間稼動し、排出量の増加が予想されたが、社員の省エネ意識もあり、昨年対比の削減率が上昇した。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>排出原単位は基準年度に対し、3.5%減となった。 期間中においては、省エネの為に事業所内のLED化やボイラーの入替等ができる限り進め、目標である1年あたり1%削減は達成することはできた。</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
500k1以上 1,500k1未満	2	4,373	2	4,094	2	4,311	2	4,316
500k1未満	1	44	1	41	2	60	2	69
合計	3	4,417	3	4,135	4	4,371	4	4,385

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度				実施中	3/4	—	2019年度		新規設立事業所につき、今後対応予定	実施中	3/4	—	2019年度		小規模店舗につき、対応検討中
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度				実施中	3/4	—	2019年度		新規設立事業所につき、今後対応検討予定	実施中	3/4	—	2019年度		小規模店舗につき、対応検討中
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	2/3	—	2017年度			港北工場 平成29年度実施予定	実施中	2/4	—	2018年度		港北工場 平成30年度実施予定	実施中	2/4	—	2019年度		港北工場 ライン改修により作成途中
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	2/3	—	2018年度			運用方法検討中	実施中	2/4	—	2018年度		運用方法検討中	実施中	2/4	—	2019年度		運用方法検討中
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度			幸浦工場 平成30年実施予定	実施中	0/1	—	2018年度		幸浦工場 平成30年実施予定	実施中	0/1	—	2019年度		幸浦工場 令和1年度実施予定
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度			該当するポンプ、ファン及びブロワーがない為	非該当	/	—	年度		該当するポンプ、ファン及びブロワーがない為	非該当	/	—	年度		該当するポンプ、ファン及びブロワーがない為
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	1/2	—	2017年度			幸浦工場 平成28年度実施 港北工場 平成29年度実施予定	実施中	1/2	—	2018年度		幸浦工場 平成28年度実施 港北工場 平成30年度実施予定	実施済	2/2	—	年度		幸浦工場 平成28年度実施 港北工場 平成30年度実施
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	2/3	—	2017年度			港北工場 平成29年度実施予定	実施中	2/4	—	2018年度		港北工場 平成30年度実施予定	実施中	2/4	—	2020年度		温度設定についての明示が未対応の為
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度			地下駐車場及び屋内駐車場は設置されていないため。	非該当	/	—	年度		地下駐車場及び屋内駐車場は設置されていないため。	非該当	/	—	年度		地下駐車場及び屋内駐車場は設置されていないため。
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/3	—	2018年度			本社は平成29年実施予定 幸浦工場は平成30年実施予定 港北工場は平成30年実施予定	実施中	1/4	—	2018年度		照明設備LED化 本社 平成29年度実施 港北・幸浦 順次更新中	実施中	2/4	—	2019年度		照明設備LED化 本社・幸浦 対応完了 港北 順次更新中
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度				実施中	3/4	—	2019年度		新規設立事業所につき、今後対応検討予定	実施中	3/4	—	2019年度		小規模店舗の為、対応検討中
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 5/7 11/11	—	年度				実施済	(設備の種類) 5/7 11/11	—	年度			実施済	(設備の種類) 5/7 11/11	—	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度			冷凍機は設置されていないため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		冷凍機は設置されていないため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		冷凍機は設置されていないため。
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 5/7 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類) 5/7 3/3	—	年度			実施済	(設備の種類) 5/7 3/3	—	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 5/7 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類) 5/7 3/3	—	年度			実施済	(設備の種類) 5/7 3/3	—	年度		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 6/7 4/4	—	年度				実施済	(設備の種類) 6/7 4/4	—	年度			実施済	(設備の種類) 6/7 4/4	—	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度			工業炉は設置されていないため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		工業炉は設置されていないため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		工業炉は設置されていないため。
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施中	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 0/9	—	2017年度			本社幸浦3台、港北工場6台 平成29年度実施予定	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 1/9	—	2018年度		幸浦工場3台、港北工場6台 平成29年度 幸浦1台更新実施	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 1/9	—	2019年度		幸浦工場3台、港北工場6台 平成29年度 幸浦1台更新実施
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 0/9	—	2017年度			本社幸浦3台、港北工場6台 平成29年度実施予定	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 1/9	—	2018年度		幸浦工場3台、港北工場6台 平成29年度 幸浦1台更新実施	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 1/9	—	2019年度		幸浦工場3台、港北工場6台 平成29年度 幸浦1台更新実施

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度					/	—	年度				/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度					—	/	年度				—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度					—	/	年度				—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度					/	—	年度				/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度					/	—	年度				/	—	年度			

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	239	東京電力エナジーパートナー（株）
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・無洗米の販売促進および原料使用による水資源の節約と排水の水質汚染の軽減 ・エネルギーモニタリングシステムの導入
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・無洗米の販売促進および原料使用による水資源の節約と排水の水質汚染の軽減
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・無洗米の販売促進および原料使用による水資源の節約と排水の水質汚染の軽減（継続実施）
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・無洗米の販売促進および原料使用による水資源の節約と排水の水質汚染の軽減（継続実施）
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・精米事業として、無洗米の販売促進。炊飯事業として、原料に無洗米を使用することで水資源の節約と排水の水質汚染の軽減（継続実施）

14 実施状況等に対する自己評価

2017年度に引き続き、2018年度は幸浦工場のLED化を進め、事業所内の切り替えを完了した。
引き続き、省エネ活動、設備の更新・運用を中心に排出量削減に取り組んでいく。